

サーベイランス・モニタリング実施状況

(有害化学物質)

平成21年2月末現在

危害要因	調査対象	調査実施状況					備考
		H17 以前	H18	H19	H20	H21(予定)	
カドミウム	米						・産地で自主的に湛水管理等の低減対策を実施中 ・食品衛生法に基づく玄米の基準値1.0 mg/kg未満を 0.4 mg/kg以下へ見直す方向で薬事・食品衛生審議会 が検討中
	配合飼料、魚粉等						
総ヒ素	米、麦、大豆、野菜等	H16-					
	米、水田土壌						
	海藻類等						
	飼料用稲わら(国産)						
	配合飼料又は肉粉、肉骨粉						
無機ヒ素	米						
	海藻類等						
ダイオキシン類(コ ブラナーPCBを含 む)	農産物(米、麦類、大豆、野菜、果物、 茶)	H15-					環境省及び都道府県が、ダイオキシン対策推進基本 方針に基づき、環境中の低減対策を実施中
	畜産物(牛乳、チーズ、牛肉、豚 肉、鶏卵)	H10-					
	飼料(動物性油脂、魚油、魚粉)	H12-					
	水産物(過去の水産庁調査で比較的 高濃度であった種・漁獲量が多い種)	H11-					
メチル水銀	米、小麦、大豆、野菜、果樹、きのこ	H16-					メチル水銀による影響が最も懸念されるのは胎児であ るため、厚生労働省が妊婦への摂食指導を実施
	マグロ・カジキ類、深海性魚類						
水銀	配合飼料、魚粉等						
鉛	米、麦、大豆、野菜等	H15- 17					食品安全委員会において、食品全体を対象とした鉛の 食品健康影響評価を実施中(自ラ評価)
	配合飼料、飼料原料等						
DON(デオキシニハレ ノール)	小麦、大麦(国産品)	H14-					生産段階における汚染低減の取組をとりまとめた「麦 類のDON・NIV汚染低減のための指針」(指針)を策定 (H20.12月)。
NIV(ニハレノール)	パン、麺、小麦粉、ビール、麦茶、しょ うゆ、みそ、ビスケット(市販品)						
3-アセチルDON、15- アセチルDON	小麦、大麦(国産品)						
DON	配合飼料、主要穀類等	H14-					

危害要因	調査対象	調査実施状況					備考
		H17 以前	H18	H19	H20	H21(予定)	
オクラトキシンA	米、小麦(国産品)	H17-					
	大麦、そば、ハトムギ、あわ、ひえ、きび(国産品)						
	配合飼料、主要穀類等	H13-					
ゼアラレノン	小麦(国産品)	H17-					
	大麦(国産品)						
	配合飼料、主要穀類等	H13-					
アフラトキシン	配合飼料、主要穀類等						
パツリン	りんご果汁	H14- H17					国内では、原料となるりんご果実の腐敗部分の除去等が実施されており、実態調査の結果からも摂取量は十分に少ない。現状では、新たなリスク管理措置は不要
アクリルアミド	・高温で加熱される食品 ・高濃度に含有するとの報告がある食品 ・日本人の摂取量が多い食品等	H16-					
クロロプロパノール (3-MCPD、1,3-DCP)	アミノ酸液及びアミノ酸液を含むしょうゆ	H16-					アミノ酸液を使用したしょうゆの一部に高濃度のものを確認。アルカリ処理がアミノ酸液中のクロロプロパノールの低減に極めて有効であることが確認されたことから、当該技術等による低減措置の徹底を業界団体に指導(H20年6月)
3-MCPDエステル	食用植物油脂、乳児用調製乳、牛肉、魚類						
PAH	かつお節及びその加工品(削り節、だしの素など)						
フラン	各種缶詰、レトルト食品、大豆食品、魚類加工品、調味料等						
残留農薬	米、麦類、大豆、野菜・果実(国産品)						
	配合飼料、乾牧草、主要穀類等						
マラカイトグリーン (MG)	海面養殖魚 養殖魚用飼料						緊急調査(モニタリング)

注)H10～H16年度に調査を開始したものは、H17以前の欄に開始年度を記載

サーベイランス・モニタリング実施状況

(有害微生物)

平成21年2月末現在

危害要因	調査対象	調査実施状況			備考
		H19	H20	H21(予定)	
カンピロバクター	鶏肉				ブロイラーの糞便の調査 食品安全委員会において、鶏肉を主とする畜産物中のカンピロバクター・ジェジュニ/コリの健康影響評価を実施中(自ら評価)
					水、飼料、敷料等の調査
サルモネラ	鶏肉				ブロイラーの糞便の調査
					水、飼料、敷料等の調査
	鶏卵				市販鶏卵及び採卵鶏の糞便の調査
	生食用野菜				収穫物の調査
					土壌、水等の調査
腸管出血性大腸菌	牛肉				肉用牛の糞便の調査
					同一個体を定期的に調査
	生食用野菜				収穫物の調査
					土壌、水等の調査
ノロウイルス	検討中			-----	
リステリア	検討中			-----	

注) 点線は、H21の調査実施を検討中